

科目名		イベント実習 2						年度	2025
英語科目名		Event Practice 2						学期	後期
学科・学年	情報ビジネス科 1年次	必／選	選	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	遠藤 麻由		教員の実務経験		有	実務経験の職種		ホテルスタッフ	
【科目の目的】									
この科目の目的は、産学連携イベントの企画・実施を通じて学生が実践的な体験を通じてコミュニケーション力、情報収集力、職業理解力、役割把握力、計画実行力、課題解決力などのスキルを身につけることです。学生がチームでの協力や問題解決能力を養い、実際の職業環境で求められる能力を向上させます。									
【科目の概要】									
この科目では、学生は産学連携イベントの企画から実施までのプロセスを体験的に学びます。学生はチームで協力し、イベントのテーマ設定、予算管理、プログラム作成、広報、運営などの段階を通じて実践的なスキルを磨きます。また、業界の専門家や関係者とのコミュニケーションを通じて職業理解を深める機会も提供されます。									
【到達目標】									
イベント企画の創造性 コミュニケーション能力 職業理解と役割把握 計画と実行能力 課題解決能力									
【授業の注意点】									
この授業では、チームの成果に貢献することを目的とし、チームメンバーへの誠実さ、思いやり、グループワーク時の協力姿勢を重視します。 イベントの準備、実施では自主性の発揮を期待しています。また、授業時間4分の3以上出席しない場合は成績評価ができません。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	独創的なアイデアやコンセプトを提案し、イベントの目的に沿った企画を練る能力を示す	新しいアイデアやコンセプトを提案し、イベントの目的に合った企画を練る能力を示す	基本的なアイデアやコンセプトを提案し、イベントの目的に基づいた企画を練る能力を示す	企画のアイデアやコンセプトに一部課題があり、イベントの目的に合わない要素が見られる場合がある	企画のアイデアやコンセプトが不適切であり、イベントの目的やテーマに基づいていない場合が多い				
到達目標 B	チーム内での円滑なコミュニケーションや協力を推進し、情報の共有や意見の調整が得意である	チーム内でのコミュニケーションや協力を進め、情報の共有や意見の調整が行える	チーム内での基本的なコミュニケーションや協力をを行い、情報の共有や意見の調整が可能である	チーム内でのコミュニケーションや協力で課題があり、情報の共有や調整が難しい場合がある	チーム内でのコミュニケーションや協力が不足しており、情報の共有や意見の調整が困難な場合が多い				
到達目標 C	イベントに関連する職種や業務内容を理解し、自身の役割を把握し、それに従って行動する	イベントに関連する職種や業務内容を理解し、自身の役割を把握し、適切な行動をとる	イベントに関連する職種や業務内容を基本的に理解し、自身の役割を把握し、行動する	イベントに関連する職種や業務内容に一部課題があり、役割把握や適切な行動が限定的である	イベントに関連する職種や業務内容を理解せず、自身の役割把握や適切な行動が不足している場合が多い				
到達目標 D	イベントの計画から実行までのプロセスを適切に進め、タスクを効果的に実施する能力を示す	イベントの計画から実行までのプロセスを適切に進め、タスクを効果的に実施する能力を持つ	イベントの計画から実行までのプロセスを基本的に進め、タスクを効果的に実施する能力を持つ	イベントの計画から実行までのプロセスに一部課題があり、タスクの実施や進捗管理が課題である	イベントの計画から実行までのプロセスを適切に進めず、タスクの実施や進捗管理が不十分な場合が多い				
到達目標 E	イベント運営中に発生する課題を迅速かつ適切に解決し、状況に柔軟に対応する能力を示す	イベント運営中に発生する課題を解決し、状況に適切に対応する能力を持つ	イベント運営中に発生する課題に基本的に対処し、状況に対応する能力を持つ	イベント運営中に発生する課題への対処に一部課題があり、適切な対応が難しい場合がある	イベント運営中に発生する課題への対処が困難であり、適切な対応がほとんど見られない場合が多い				
【教科書】									
【参考資料】									
資料を配布する									
【成績の評価方法・評価基準】									
平常点 100% 積極的な授業参加度、自主性、授業態度50% チーム行動50%									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		イベント実習 1				年度	2025
英語表記						学期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	イベント実習の概要と重要性	イベント実習の目的と重要性を理解する	1	イベント実習の意義	イベント実習の意義を理解し	3	
			2	学習目標の確認	目標の設定		
			3				
2	イベント企画の基本	イベントの企画段階を学び、基本的なステップを理解する	1	イベント企画の基本的な流れ	イベント企画のステップの理解とアイデア発想の方法	3	
			2	アイデアの出し方			
			3				
3	イベントのテーマ設定	イベントのテーマ設定とターゲット設定を学ぶ	1	テーマの選定方法	テーマ設定とターゲット分析のスキル	3	
			2	ターゲット層の分析			
			3				
4	予算計画とリソース調達	イベント予算の立案と必要リソースの調達方法を学ぶ	1	予算の設定	予算立案とリソース調達のスキル	3	
			2	リソースの調達手段			
			3				
5	プログラムの構築	イベントのプログラム構築とスケジュール管理を学ぶ	1	プログラムの設計	プログラム構築とスケジュール管理のスキル	3	
			2	スケジュールの作成			
			3				
6	実施準備とリーダーシップ	イベント実施に向けた準備とリーダーシップスキルを学ぶ	1	実施準備の段取り	実施準備とリーダーシップスキルの向上	3	
			2	リーダーシップの基本			
			3				
7	イベント実施と運営	イベントの実施と運営のスキルを磨く	1	イベント当日の運営	イベント実施と運営のスキルの向上	3	
			2	トラブル対応のケーススタディ			
			3				
8	反省と改善	イベント実施後の反省と改善方法を学ぶ	1	イベントの評価	反省と改善のスキルの向上	3	
			2	改善策の提案			
			3				
9	イベントレポート作成	イベントの振り返りとレポート作成のスキルを学ぶ	1	イベントの成果と課題	イベント振り返りとレポート作成のスキル	3	
			2	レポートの構成			
			3				
10	産学連携との連携	産学連携の重要性と連携の方法を学ぶ	1	産学連携の意義	産学連携のスキルと実践方法	3	
			2	企業との連携事例			
			3				
11	イベントマネジメントの実践	イベントマネジメントの実際的な手法を学ぶ	1	イベントの計画と運営	イベントマネジメントの実践スキル	3	
			2	成功事例の分析			
			3				
12	イベント実施者としての役割	イベント実施者としての責任と役割を理解する	1	イベント実施者としての心構え	イベント実施者としての意識とマナー	3	
			2	エチケット			
			3				
13	イベントの評価と成果発表	イベントの評価方法と成果発表スキルを学ぶ	1	イベントの評価指標	イベント評価と成果発表のスキル	3	
			2	成果発表の準備			
			3				
14	イベント実習の総括と成果発表	イベント実習を総括し、成果を発表する	1	イベント実習の振り返りと成果発表	イベント実習の総括と成果発表スキル	3	
			2				
			3				
15	イベント実習2の成果発表と振り返り	イベント実習2の成果を発表し、振り返る	1	イベント実習1の成果発表	イベント実習1の成果発表と振り返りスキル	3	
			2	振り返りのディスカッション			
			3				
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他							
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった							
備考 等							